

京都教育大学における男女共同参画推進のためのアクションプランの達成状況

(1) 環境整備

- a. 終業時刻後に会議を原則として開催しない。

教授会委員会や法人委員会の会議については、緊急を要する場合や附属学校園の教職員が参加する会議を除いて、終業時刻後に会議を設定しない、また終業時刻後まで会議を延長しないという方針で各会議を開催してきている。

また、土日祝日に出勤の多い学内委員会委員について、3歳未満の子を養育する教員から申し出があった場合、免除することとした。

- b. 教職員向けの休養室を整備する。

平成27年1月に、事務局3階に教職員向けの休憩室を設置した。

- c. 大学に学生向けの休憩室を整備する。

整備できていない。

(2) 意識啓発

- a. 人権委員会で実施している新規採用者・転入者研修において、男女の人権に対する意識啓発を行う。

人権教育研修会を、下記のとおり実施した。

【平成25年度】 平成25年5月22日

- 内容 ・京都教育大学における人権教育の歩みと現況
関口人権委員会副委員長
・本学におけるハラスメント防止の取組について
小林総務課長
・大学の近況報告
細川人権委員会委員長

参加者数：48名

【平成26年度】 平成26年5月16日

- 内容 ・京都教育大学における人権教育の歩みと現況
関口人権委員会副委員長
・本学におけるハラスメント防止の取組について
小林総務・企画課総務担当課長
・大学の近況報告
細川人権委員会委員長

参加者数：34名

【平成27年度】 平成27年5月15日

- 内容 ・京都教育大学における人権教育の歩みと現況
関口人権委員会副委員長
・本学におけるハラスメント防止の取組について
小林総務・企画課総務担当課長
・大学の近況報告
細川人権委員会委員長

参加者数：40名

- b. 残業の削減、有給休暇の取得率向上に関する研修会を全教職員に対して行う。

男女共同参画推進研修会を、下記のとおり実施した。

【平成 24 年度】 平成 25 年 2 月 18 日

「どうする？介護」於：附属桃山中学校

北尾勝美 氏（健光園あらしやま）

参加者数：34名

【平成 25 年度】 平成 26 年 2 月 18 日

「組織活性化のワーク・ライフ・バランスセミナー～すべての人が生き生きと働ける組織であるために～」於：大学 A1 講義室

土井文子 氏（公益財団法人 21 世紀職業財団客員講師）

参加者数：24名

【平成 26 年度】 平成 27 年 2 月 20 日

「ワークライフバランスセミナー～すべての人が能力発揮でき、働きやすい職場環境づくりをすすめるために～」於：附属京都小中学校

土井文子 氏（公益財団法人 21 世紀職業財団客員講師）

参加者数：56名

【平成 27 年度】 平成 27 年 11 月 2 日

「ワークライフバランスを考えよう！～働き方改革で、さらなる能力発揮を～」於：附属桃山小学校

土井文子 氏（公益財団法人 21 世紀職業財団客員講師）

参加者数：34名

(3) 教育・研究

- a. 大学において「ジェンダー論」、「人権と法」、「人権問題論 I」、「性倫理と性教育」など、男女共同参画に関連する授業科目の内容を充実させる。

平成 26 年度は、学生向けに、「教員としての職業キャリアと生活者としての生活キャリアを相互に理解し合い、次世代の男女共同参画意識を高めること」を目的として、「初等中等教育を担う女性教員のロールモデルの構築」をテーマにしたシンポジウムを実施した。

平成 26 年 11 月 12 日 於：センター機構棟 未来教室対応・高度化授業研究室

【基調講演】文部科学省生涯学習政策局男女共同参画学習課長 藤江 陽子 氏

「我が国の男女共同参画の現状と女性の活躍支援」

文部科学省初等中等教育局初等中等教育企画課 堀家 健一 氏

「働き続ける女性教員の現状と課題」

【経験談報告】豊中市公立中学校教諭 藤井 幸恵 氏

附属京都小中学校教諭 高田 陽子 氏

附属特別支援学校教諭 中島 有扶子 氏

参加者数：53名

- b. 大学において学部科目「人権問題論 I」を学科・センターでの分担実施とし、全学的・組織的な教育体制に移行する。

人権に関わる問題を多様な観点から分析し、その考察を通じて人権問題についての関心や認識を深めることを到達目標として、3、4人の教員それぞれの分野から、2～5

回ずつ授業を行っている。

【平成 25 年度】伊藤 悦子、伊藤 崇達、樋口 とみ子

【平成 26 年度】伊藤 悦子、関口 久志、丸山 啓史

【平成 27 年度】伊藤 悦子、天野 知幸、丸山 啓史、中俣 尚己

c. 附属図書館に「男女共同参画コーナー」の設置を検討する。

「男女共同参画コーナー」の設置に向けて、コーナーに配架する図書の購入を検討した。

(4) 地域連携・地域貢献

a. 大学公式HPを通じて、本学の男女共同参画推進に関する取り組みを、より積極的に発信する。

内閣府 男女共同参画局 仕事と生活の調和推進室「カエル！ジャパン」キャンペーンへ参加登録し、研修会のポスター等でロゴマークを使用することとした。

男女共同参画ニュースレターを発行し、HPに掲載した。

b. 平成 25 年度の京都教育大学公開講演会を男女共同参画推進に関わる年間テーマで開催する。

地域連携・広報委員会と協力して、年間テーマ「男も女も……一人ひとりが輝く生と性」のもとで、下記の公開講演会を実施した。

第 1 回 4 月 13 日

「子どもの育ちと女（男）らしさ～未来の多様な幸せのために～」

関口久志氏（京都教育大学・教育支援センター准教授）

参加者数：19名

第 2 回 7 月 26 日

「性的少数者、HIV 感染者支援からみる『自分らしく生きることのできる社会』

繁内幸治氏（性感染症予防啓発ボランティア BASE KOBE 代表）

参加者数：30名

第 3 回 11 月 9 日

「ジェンダー平等は子どもの発達可能性を拓ける鍵」

朴木佳緒留氏（神戸大学大学院人間発達環境学研究科教授）

参加者数：82名

c. 地域の子育て支援等のため、ふれあい伏見フェスタや藤陵祭その他事業においてキャンパス開放を積極的に実施する。

子育て支援の活動として、構内を開放し、以下の施設を利用できることをHPに広報した。

- ・ 大学内 2 カ所のおむつ換え設備付きトイレ
- ・ 授乳室（大学会館内）
- ・ 附属図書館（児童書・幼児教育関連図書等あり）
- ・ 生協

平成 25 年度に藤森キャンパスの大学会館 1 階に授乳室を設置し、利用者ノートを書いてもらい、利用状況も確認できるようにした。

構内を自由に「おさんぽ」することができることを HP に広報し、季節を楽しむことができる「おさんぽマップ」も作成し、掲載した。

また、「おさんぽマップ」には、授乳室やおむつ換え設備付きトイレの場所を表示し、利用者にとってわかりやすいようにした。

- d. 地域の子育て支援等のため、「うたとおはなしの会」を継続的に実施する。

下記のとおり実施した。

平成 25 年 4 月 27 日 第 20 回「うたとおはなしの会」

附属図書館 北館 2 階 研修セミナー室 1

平成 25 年 12 月 14 日 第 21 回「うたとおはなしの会」

附属図書館 北館 2 階 研修セミナー室 1

平成 26 年 4 月 26 日 第 22 回「うたとおはなしの会」

附属図書館 北館 2 階 研修セミナー室 1

平成 26 年 11 月 22 日 第 23 回「うたとおはなしの会」

附属図書館 北館 2 階 研修セミナー室 1

平成 27 年 4 月 25 日 第 24 回「うたとおはなしの会」

附属図書館 北館 2 階 研修セミナー室 1

平成 27 年 11 月 21 日 第 25 回「うたとおはなしの会」

附属図書館 北館 2 階 研修セミナー室 1

- e. 地域の子育て支援等のため、改修後の図書館に「児童書（絵本）コーナー」を設置する。

南館 1 階に「児童書コーナー」を設置し、児童書・絵本・紙芝居などを配架した。児童文学研究のコレクション(斎藤文庫)も配架した。毎月第 3 月曜日に、本学幼児教育科主催による読み聞かせ会「えほんのもり」を実施している。

上記 d. 「うたとおはなしの会」や e. 絵本の読み聞かせ会「えほんのもり」を附属図書館で開催している幼児教育科が、平成 27 年度※「京都市はぐくみ憲章」実践推進者として、京都市から表彰された。

※京都市の子どもたちの健やかな育ちのために大人としてどのように行動すべきかの規範である「子どもを友に育む京都市民憲章（愛称：京都市はぐくみ憲章）」のモデルになる活動として表彰されるもの。

以上